

Gender Equality

今とこれからを輝いて生きる

SDGs できることから、はじめよう

最近、SDGs(エスディーゼーズ)という言葉
を聞く機会が増えてきました。

SDGs(持続可能な開発目標)は、2015年の国
連サミットで150か国以上の加盟国の全会一致
で採決された国際目標です。2030年までに持
続可能でよりよい世界をめざし「誰一人取り残
さない」ことを理念として、世界中の国・地
域・企業・個人など、あらゆる人々が協力して
取り組む17のゴール(目標)で構成されていま
す。

17のゴールで私たちの暮らしや地球を守り
ながら、環境・社会・経済など、地球規模のさ
まざまな課題を解決し、豊かな未来をつくら
せていくことをめざしています。

近年のニュースを見ると、今までにはなかった新しい病気の感染拡大、戦争や
紛争による犠牲者や難民の増加、女性や子ども、高齢者、障がいがある人など社
会的弱者への支援、地球規模の環境破壊や温暖化がもたらす気候の変動など、世
界全体で取り組まなければならない問題が多くあります。それらを解決していく
ためには、地球に住む全ての人の日常の努力が必要です。国や企業、地域、団体、
そして一人ひとりの努力が世界を救います。これからは、SDGsを意識して生活
しませんか。日常の生活の中での新しい発見もあるかもしれません。



SDGsに関して詳しくは、
外務省ホームページを
ご覧ください。



男女共同参画を考えることが、SDGsにつながる

SDGsの5番目のゴールに「ジェンダー平等を実現しよう」があります。ジェンダーとは、「社会的・文化的に形成された性別」を意味する言葉です。

ジェンダーの平等性を示す指数として、世界経済フォーラムにより国別に男女格差を数値化した「ジェンダーギャップ指数」が毎年発表されます。これは、各国の男女平等度を「政治・経済・教育・健康」の4領域で数値化し順位をつけるものです。今年の日本の順位は参加した146か国の中で125位でした。日本はジェンダー平等の取組が進んでいないと、国際社会から指摘されています。

ジェンダー平等は、言い換えると「男女共同参画社会の実現」を意味します。「男女共同参画社会の実現」がそのままSDGsにつながるのです。私たち一人ひとりが「男女共同参画」に関して考えることが求められています。

おごおり女性ホットライン ☎092-513-7337

DVのことや家族関係、職場のことなど、ひとりで悩まずご相談ください。秘密は厳守します。
月～金曜日/10時～17時(祝日、12月29日～1月3日を除く)



福岡県・男性DV被害者のための相談ホットライン ☎070-4410-8502

火・木曜/18時～21時、土曜/10時～13時(12月29日～1月3日を除く)

内閣府・DV相談^{プラス} ☎0120-279-889 (24時間受付)

メール・チャットでの相談もできます

